

第192回液体クロマトグラフィー研究懇談会例会

日時: 2006年3月23日(木) 13時~17時30分

会場: **東京理科大学薬学部校舎 薬学部1442教室(14号館4階)** [アクセス](#)
[千葉県野田市山崎2641、電話:04-7121-1501、交通:東武野田線「運河」駅下車]
薬学部校舎へは、理工学部校舎を通り抜ける必要があります(徒歩7-8分)。
最寄り駅からのアクセスは[Yahoo路線](#)でお調べ下さい。

講演主題: 誘導体化によるHPLC測定の有効性

開催趣旨: 最近のHPLC測定では極微量の成分を高感度、且つ、再現性よく測定しなければなりません。しかし、測定成分によっては「経時安定性が悪い」「吸着等によりピーク形状が悪い」「検出器との相性が悪い」等により、上手く測定できないことがあります。そこでこれらの問題を少しでも改善できるよう、今回の研究懇談会では主に環境分析を題材として誘導体化による測定を紹介したいと思います。

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)
(綜研化学(株)) 矢野 剛
2. 気中アルデヒド類測定 ~サンプリングから分析まで~ (13:05~13:35)
(日本ウォーターズ(株)) 佐々木 俊哉
3. Presep-CDNPHを用いたアルデヒド分析例 (13:35~14:05)
(和光純薬工業(株)) 瀧内 邦雄
4. DNPH誘導体化による室内空気及び材料発生ガス中のアルデヒドの測定 (14:05~14:35)
(ジーエルサイエンス(株)) 星野 邦広
5. 新規アルデヒドサンプラーCNETの研究開発 ~有機化学の分析技術への応用~ (14:35~15:05)
(株)住化分析センター) 北坂 和也
6. 糖類のポストカラム誘導体化法における工夫 (15:20~15:50)
(株)島津製作所) 三上 博久
7. LC-ESI/MS高感度検出のためのマイクロチップを用いた糖類の誘導体化 (15:50~16:20)
(マイクロ化学プロセス技術研究組合) 高橋 豊
8. サイズ排除クロマトグラフィーにおける誘導体化の実施例 (16:20~16:50)
(綜研化学(株)) 矢野 剛

9. 総括：誘導体化によるHPLC測定の有効性（16:50～17:30）

（東京理科大学薬学部）中村 洋

参加費（含講演資料集代）

LC研究懇談会会員：1,000円、会員外：3,000円、学生：500円（当日受付にてお支払い下さい）。

カタログ展示

1小間：5,000円（場所スペースは運営委員に一任させていただきます）

懇親会

講演終了後、講師を囲んで懇親会を開催します（薬学部食堂を予定）。会費：1,000円。

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書（[ここをクリックして](#)現れるページをプリントアウトしてご使用下さい）にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい（定員をオーバーした場合のみご連絡します。）

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
（社）日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話：03-3490-3351、FAX：03-3490-3572]